

## 北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	緑内障患者の視野異常の自覚に関する実態調査 (B25-192)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部眼科学 教授 庄司信行
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	該当なし
本研究の概要・背景・目的	<p>緑内障は、現時点ではいかなる方法を用いても、失われた視機能を回復することが出来ないため、見え方による生活の質の低下を抑制するには、早期発見と早期の治療介入が必要です。</p> <p>しかし、緑内障による視野障害は自覚に乏しいことが知られており、自覚に基づいて受診したときには、視野障害がかなり進行した状態で、治療を行っても視機能障害の進行抑制は困難であり、生活の質の低下が occurs します。</p> <p>そこで、早期に緑内障性視野障害の自覚を促す方法を開発するために、緑内障患者さんがどの程度視野異常を自覚し、それが日常生活にどの程度の支障を来すのか、そしてどのような方法でその異常をより早期に検出できるのかをアンケートによって調査することを目的としています。</p>
調査データ 該当期間	2025年9月1日から2026年5月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に眼科を受診した方で、アンケート聴取にご協力いただいた患者さんが対象となります。
研究の方法 (使用する試料等)	2025年9月1日から2026年5月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用し、年齢、性別、緑内障病型、現病歴、既往歴、合併症、点眼薬数、視力、屈折、眼圧、視野感度といった背景データとアンケートによる回答の関係を解析します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、北里大学病院眼科研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

	<p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：医学部・眼科学 担 当 者：笠原正行（カサハラ マサユキ） 電 話：042-778-8464</p>
備 考	